

今後の大学連携に関する合意書

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（「Tokyo2020」）、公益財団法人日本オリンピック委員会（「JOC」）、公益財団法人日本パラスポーツ協会（「JPSA」）及び日本パラリンピック委員会（「JPC」）、特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー（「JOA」）は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）においてTokyo2020により実施された大学連携プログラムに関し、以下の通り、合意する。

東京2020大会において、Tokyo2020と各大学との連携協定に基づく大学連携プログラム（以下「大学連携プログラム」という。）は学生による東京2020大会への機運醸成の大きな効果をもたらした。

2021年末を以て大学連携プログラムは終了したが、オリンピック・パラリンピックを通じたスポーツ、平和、持続可能性、ジェンダーイクオリティー等に関する学生の取り組みは、今後の我が国の社会にも必要であると考えられる。

また、オリンピック教育、パラリンピック教育（I'mPOSSIBLE など）を受け、大会マスコットであるミライトワ・ソメイティの選定に携わった当時の小学生や、中・高校生、特別支援学校生等が大学生になったときにかかる連携をその活動の受け皿・社会人への橋渡しとして残し、更に今後のオリンピック・パラリンピックに向け、持続的・継続的なムーブメントに結び付けていくことは、大会のレガシーを残すという意味でも重要である。加えて、各地の大学がホストタウンなどで全国に生まれた地域活動の継続に果たす役割も大きい。

かかる観点から、東京2020大会のレガシーの一つとして、今後、東京2020大会の大学連携プログラムを通じて培ったネットワークを活かし、JOC、JPSA/JPC、JOAが、関係機関・関係者と協調して各大学との連携を継続するため、2020オリンピック・パラリンピック大学連携レガシーネットワークとして、効率的に情報共有・ムーブメントに関わる活動・イベント企画等を推進していくこととする。

令和4年6月9日

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
会長

橋本 聖子



公益財団法人日本オリンピック委員会会長

山下 泰裕



公益財団法人日本パラスポーツ協会／日本パラリンピック委員会
会長

森 和之



特定非営利活動法人 日本オリンピック・アカデミー会長

望月 敏夫

